2022年～2024年　取締役会実効性評価アンケート調査結果について

2022年から2024年における取締役会実効性評価アンケート結果の推移は以下の通りとなります。

①　アンケートの実施要領

対 象 者 ：取締役及び監査役の全員（取締役11名、社外取締役1名、監査役1名、社外監査役2名）

方　　式 ：無記名式アンケート

各設問に対し不適切（1）～適切（5）の5段階評価と自由記述

②　評価結果

⇦適切　　不適切⇨

5	4	3	2	1

4と5の合計（適切と判断）の推移と1と2の合計（不適切と判断）の推移

1．取締役会の構成に関する質問

（1）　取締役会の構成人数は適切ですか

	適切と判断	不適切と判断
2022年	66.7%	0%
2023年	72.8%	9.1%
2024年	80%	0%

※　適切との判断が増えています。

（2）　取締役の知識・経験・能力・性別等の観点から多様性が適切に確保されていますか

	適切と判断	不適切と判断
2022年	50.0%	16.7%
2023年	72.7%	9.1%
2024年	80%	13.3%

※　適切との判断が増えていますが、多様性の確保についての指摘がありました。

(3)　独立社外取締役の人数・役割は適切ですか

	適切と判断	不適切と判断
2022 年	58.3%	16.7%
2023 年	63.6%	18.2%
2024 年	73.3%	6.7%

※　適切との判断が増えています。

2．取締役会の運営に関する質問

(1)　取締役会の開催頻度は適切ですか

	適切と判断	不適切と判断
2022 年	91.7%	0%
2023 年	100%	0%
2024 年	100%	0%

※　昨年と同様に適切との判断であり、全員一致となりました。

(2)　取締役会の付議事項の数及び内容は適切ですか

	適切と判断	不適切と判断
2022 年	83.3%	8.3%
2023 年	91.0%	9.1%
2024 年	86.7%	0%

※　適切との判断は 2022 年からほぼ同じ結果で、不適切と判断した方はいませんでした。

(3)　取締役会付議事項一つ当たりの審議時間は適切ですか

	適切と判断	不適切と判断
2022 年	83.3%	0%
2023 年	72.8%	9.1%
2024 年	60%	0%

※　2024 年は不適切との判断はありませんが、適切との判断が 3 年間で最低となっています。

(4)　取締役会資料は質的・量的の観点で適切ですか

	適切と判断	不適切と判断
2022 年	66.6%	0%
2023 年	90.6%	0%
2024 年	80%	0%

※　2023 年以降はほとんどの役員が適切と判断しています。

(5)　取締役や監査役には、取締役会資料を事前に検討する時間が十分に与えられていますか

	適切と判断	不適切と判断
2022 年	33.3%	25.0%
2023 年	54.6%	18.2%
2024 年	66.7%	13.3%

※　2022 年から比べて改善されています。

(6)　取締役会の審議中、社外取締役、取締役、社外監査役、監査役が自由に発言できる雰囲気となっていますか

	適切と判断	不適切と判断
2022 年	83.3%	0%
2023 年	90.9%	0%
2024 年	80%	0%

※　2022 年、2023 年とほぼ同じ結果になりました。

(7)　財務報告に係る内部統制やリスク管理体制の整備・運用について十分に議論されていますか

	適切と判断	不適切と判断
2022 年	50.0%	16.7%
2023 年	54.6%	0%
2024 年	73.3%	6.7%

※　適切との判断が増えていますが、不適切との判断もありました。

3．経営全般に関する質問

(1)　株主の平等性を確保するために、情報の迅速かつ、適切な開示が適切に行われていますか

	適切と判断	不適切と判断
2022 年	75.0%	0%
2023 年	72.8%	0%
2024 年	80%	0%

※　2022 年、2023 年とほぼ同じ結果になりました。

(2)　持続的な成長と中長期的な企業価値向上のため、中期経営計画の策定は十分に議論されていますか

	適切と判断	不適切と判断
2022 年	91.7%	8.3%
2023 年	80.0%	0%
2024 年	66.7%	6.7%

※　適切との判断が減り、不適切と判断する方もいました。

(3)　株主への利益還元は適切に行われていますか

	適切と判断	不適切と判断
2022 年	91.6%	0%
2023 年	100%	0%
2024 年	93.3%	0%

※　2022 年、2023 年とほぼ同じ結果になりました。